

Rainbow letter

2019.12 No. 21

日本周産期メンタルヘルス学会・ニュースレター

第16回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会 開催報告

2019年10月26、27日の土日をまたぎ、当学会の第16回学術集会を開催しました。普段は気候温暖な千葉県も巻き込んだ9月の台風15号、10月の19号の風雨災害に重なり、開催前日の25日には、局所的な大雨で千葉駅周辺含む県内各所に浸水被害が生じ、ご参加の皆様への多大な心配をお掛けいたしました。翌日の開催中は、なんとか天気が持ちましたが、災害対応に追われ参加が難しくなった方もいらしたと存じます。

今大会は、岡野禎治先生から引き継がれた鈴木利人新理事長のもと初開催となりました。素人中心の不慣れな準備、進行にてご迷惑をお掛けした点も多々ございましたが、おかげさまで、両日合わせて958名のご参加をいただきました。

4つのシンポジウムでは、産婦健診、虐待対応、コホート研究、心理療法の最近の知見や問題提起がなされ、ポスターセッションでも内容の濃い研究発表や熱意溢れるディスカッションが繰り広げられました。特別講演では、鈴木理事長から、各地域での精神科医の関わり方を総括・ご提案いただきました。

座長、演者の皆様、協賛企業様、プログラム委員の先生方、当日のボランティアの方々のご尽力とご参加の皆様の温かなお心遣いに、主催側を代表しまして、こころよりお礼を申し上げます。

この熱意を絶やすことなく、日本赤十字医療センター笠井靖代先生を大会長として、来年、2020年10月31日~11月1日に、日本赤十字看護大学で開催される第17回大会に向けて、実践と研鑽を重ねて参りましょう。



(大会長・理事 / 渡邉博幸 / 千葉大学社会精神保健教育研究センター特任教授・医療法人学而会木村病院院長)

第16回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会は期待を裏切らない活気溢れる素晴らしい大会となりました。 渡邉博幸大会長をはじめ、開催・運営に関わられたスタッフの皆様方、そして長年にわたって事務局として支え てこられ、この大会で終えられます安川通子様に心より感謝申し上げます。

会員の皆様方には、今年の理事会および評議員会・総会において、決定いたしました来年度(令和2年4月以降)の理事、監事、特別会員につきましてご報告申し上げます。本学会の研究会時代からの創設者であります岡野禎治理事(前理事長)(三重大学名誉教授)には名誉理事に、また創設メンバーであります杉山隆理事(愛媛大学)には功労理事にご就任頂くこととなりました。新理事として岡島美朗先生(自治医科大学さいたま医療センター)、牧野真太郎先生(順天堂大学)がご就任されます。現在監事をお引き受け頂いております相良洋子先生(さがらレディスクリニック)、長谷川雅美先生(新潟県立看護大学)には顧問に再びご就任頂きます。新監事には、西園マーハ文先生(明治学院大学)、井村真澄先生(日本赤十字看護大学)がご就任されます。

現在は学会の管理・運営や学術誌発行、さらに学術集会の開催・運営に関する新たな組織の構築に向け作業中であります。今後も学会の一層の発展に向けて、会員の皆様方のご理解とご支援をお願い申し上げます。皆様方とは第17回学術集会開催予定(2020年10月31日、11月1日 http://www.procomu.jp/pmh2020/gakkai.html)の日本赤十字看護大学でお会いできますことを楽しみにしています。

(理事長/鈴木利人/順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック教授)

事務局移行のお知らせ

2019年10月に学会事務局は学会支援機構に移行しました。連絡は右記にお願いいたします。

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 小石川アーバン4F

一般社団法人 学会支援機構内

Tel: 03-5981-6011 / Fax: 03-5981-6012

Email: jspmh@asas-mail.jp

Webサイト: http://pmh.jp/index.html (QRコード →)



企画・発行:日本周産期メンタルヘルス学会 情報関連委員会

当学会では会員の皆様にとって有用な情報をニュースレターで取り上げていきます。 ご意見やご要望がありましたら事務局までお知らせください。